

常任委員会による先進都市

行政視察

各常任委員会で所管する事項について、先進地の取組状況を視察しましたので報告いたします。

総務市民委員会

10月21日～22日

地域課題解決型子ども議会



東京都狛江市

狛江市では、全国初の主権者教育計画を策定し、障がい者等への投票支援をはじめ、小中学校における主権者教育を推進してきました。また、主権者教育の一環として、「子ども議会」を開催し、小学5年生から中学2年生を対象に地域課題解決をテーマにワークショップを開いています。第1期から第2期への移行に際して、地域を理解し地域課題に向き合うことを主眼として、フィールドワークをもとに子供たちが参加しやすい形式としています。

令和6年度に本市で開催する「いただきへの、はじまり 富士市高校生議会」においても、先進事例として大いに参考となるものでした。

コンセッション方式による整備・運営



神奈川県川崎市

川崎市では、等々力緑地をPFI法に基づきコンセッション方式で再整備・運営しています。多摩川の旧河川敷を利用したこの緑地は、多くの運動施設と緑が調和した公園となっており、スポーツ施設に重きを置きながらも、様々なイベントを通じて、市民の憩いの場になっています。指定管理者と市が相談しながら運営し、指定管理者に事業制約や報告義務等を設けることで、川崎市主導による市民に寄り添った運営ができる体制を整えていました。

そのほか、東京都葛飾区にて、「チャットGPTを活用した取組について」及び、認定NPO法人ふるさと回帰支援センターにて、「静岡県及び富士市への移住相談状況について」を視察しました。

産業教育委員会

10月24日～25日

コミュニティスクールによる小中一貫教育



東京都三鷹市

三鷹市では、これまでに地域や家庭が学校運営や学校教育に深く関わる仕組みが確立しており、ボランティアの様々な支援により、教師が子供に向き合う時間が増え、教育活動への保護者・地域の協力体制が広がるとともに、児童生徒の学習意欲の向上にもつながっていることが分かりました。また、全ての学園（小中一貫校）にコミュニティスクール委員会を設置し、市民による活発な活動が行われ、小中一貫教育の柱となっているとのことでした。

三鷹市の事例は、富士市の施策を進める上で大変参考になるもので、学校と地域の関わりをもっと活発にしていかなければならないと感じました。

スポーツを活用したまちづくり



栃木県宇都宮市

宇都宮市では、「スポーツの多面的価値を最大限に活用したスポーツシティ宇都宮」の実現を目指し、プロスポーツチームとの連携や国際大会の誘致、スポーツ施設の集約化等の環境整備など、様々な取組を行っています。

行政、市民、団体等が一体となってスポーツを核としたイベントやまちづくりを進めることは、シビックプライドや地域の一体感の醸成につながり、観光、経済、住民福祉に資すると考えるので、本市でも積極的に実施していきたいと考えます。

そのほか、とちぎビジネスAIセンターにて、「企業へのAI等の導入利活用支援」を視察しました。

福祉保健委員会

10月23日～24日

認知症検診事業



埼玉県草加市

草加市では、認知症患者の増加への対策として、医療機関を受診した高齢者等の方が、脳の健康度チェック票を使用した検診を無料で受けることができる認知症検診事業を行っています。

この事業は、草加八潮医師会から、認知症専門医のスクリーニングにより認知症を早期発見することの有用性を提言されたことを受け、平成26年度から医師会へ事業委託をする形で開始しており、草加市も早期発見の重要性の周知に取り組んでいます。

本市においても、高齢化に伴う認知症患者の増加は課題であり、先進事例として大いに参考となるものでした。

座間市誘致病院開設



神奈川県座間市

座間市は以前まで、現在の富士市と同様に病床過剰地域で、病院の新設等が困難な状況にありましたが、努力の末に病床不足地域への転換を果たし、それに伴い新たな病院誘致に成功しています。

この病院開設は、未利用国有地の活用という特殊なケースで、タフな交渉を幾つも乗り越え実現し、その結果、市外搬送率も大きく改善されました。

病床過剰地域である富士保健医療圏においても、全関係者が覚悟を決めて取り組んでいく体制の確立に努めたいと感じました。

そのほか、志木市にて、「地域共生社会を実現するための条例について」を視察しました。

建設消防委員会

10月22日～23日

インクルーシブ広場の整備



千葉県市原市

市原市では、国からSDGs未来都市の認定を受けたことをきっかけに、上総更級公園の一面にインクルーシブ広場の整備を計画しました。

整備に先立ち、市内の特別支援学校などへアンケート調査を実施し、バリアフリーに配慮した園路、複合遊具への柵付スロープの設置などの要望を反映させ、令和5年4月に供用を開始しました。

熟慮して選定した遊具の中には、想定とは違う使い方をされるものがあるなど、整備の難しさを目の当たりにしましたが、一方で、障害の有無にかかわらず、集まって遊ぶことができる安全・安心な広場を整備することに、大きな意義を感じました。

銚子電鉄の取組



千葉県銚子市

銚子市では、銚子電鉄に対し、設備投資への補助を行っています。その財源の7割はふるさと納税であり、返礼商品には、オリジナルヘッドマークをつけての運行、駅長体験などが用意されています。ほかにも、ぬれ煎餅やまずい棒などの販売を筆頭に、駅名御朱印帳や線路の石の販売など、経営改善のため、自由な発想で様々な取組を行っています。利用者減により鉄道収入が減少する中で、社員が一丸となり、鉄道事業をなんとかして存続させようという強い思いを感じました。

本市の岳南電車について考える上で、参考となる先進的な取組でした。

「あいさつ・11月定例会

常任委員会の審査等

一般質問一覧

特集

常任委員会視察

議会広報委員のページ

「あいさつ・11月定例会

常任委員会の審査等

一般質問一覧

特集

常任委員会視察

議会広報委員のページ